

平成27年9月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
8. 水道事業収益	2,718,378	227,694	1,230,897	45.3%	1,487,481		
1. 営業収益	2,295,737	222,698	1,206,117	52.5%	1,089,620		
1. 給水収益	2,260,332	199,315	1,179,634	52.2%	1,080,698		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	35,405	23,383	26,483	74.8%	8,922		
2. 営業外収益	421,760	4,063	23,847	5.7%	397,913		
3. 特別利益	881	933	933	105.9%	△ 52		
9. 水道事業費用	2,436,738	140,722	538,795	22.1%	1,897,943	793,866	32.6%
1. 営業費用	2,121,988	73,285	414,540	19.5%	1,707,448	669,373	31.5%
1. 原水及び浄水費	420,983	30,243	152,423	36.2%	268,560	237,737	56.5%
2. 配水費	284,777	14,807	82,795	29.1%	201,982	126,487	44.4%
3. 給水費	101,504	6,937	54,324	53.5%	47,180	66,193	65.2%
4. 受託工事費							
5. 業務費	162,009	13,841	68,235	42.1%	93,774	153,493	94.7%
6. 総係費	148,288	7,458	56,689	38.2%	91,599	85,390	57.6%
8. 減価償却費	974,327				974,327		
9. 資産減耗費	30,100		73	0.2%	30,027	73	0.2%
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	293,027	67,388	123,948	42.3%	169,079	123,948	42.3%
3. 特別損失	1,723	49	307	17.8%	1,416	545	31.6%
4. 予備費	20,000				20,000		
10. 資本的収入	3,006,208	△ 2,216	12,865	0.4%	2,993,343		
1. 企業債	1,646,800				1,646,800		
2. 負担金・補償金	56,528	△ 2,411	6,180	10.9%	50,348		
3. 補助金	541,847				541,847		
4. 出資金	745,967				745,967		
5. 加入金	15,066	194	6,685	44.4%	8,381		
9. その他資本的収入							
11. 資本的支出	4,071,062	182,875	376,062	9.2%	3,695,000	2,637,459	64.8%
1. 建設改良費	3,438,955	36,074	62,631	1.8%	3,376,324	2,324,028	67.6%
1. 取水施設整備費	761,076				761,076	759,618	99.8%
2. 導水施設整備費	188,460				188,460	188,460	100.0%
3. 浄水施設整備費	90,688				90,688	27,540	30.4%
4. 配給水施設整備費	2,395,707	36,074	62,631	2.6%	2,333,076	1,345,818	56.2%
5. 管理施設整備費							
6. 消防設備整備費	3,024				3,024	2,592	85.7%
2. 企業債償還金	632,107	146,801	313,431	49.6%	318,676	313,431	49.6%
12. たな卸し資産購入限度額	61,481	1,452	17,118	27.8%	44,363	47,745	77.7%
①有収水量	8,069,200	706,178	4,172,596	51.7%	3,896,604		
②供給単価	280.12	282.25	282.71	100.9%	△ 2.59		
③給水原価	258.40	199.20	129.05	49.9%	129.35		
人件費	705,323	43,302	307,458	43.6%	397,865		
1. 収益的収支	674,567	41,324	291,702	43.2%	382,865		
1. 職員給与費	200,537	13,024	95,202	47.5%	105,335		
2. 特別職(報酬、賃金等)	474,030	28,300	196,500	41.5%	277,530		
2. 資本的収支	30,756	1,978	15,756	51.2%	15,000		
* 職員給与費	231,293	15,002	110,958	48.0%	120,335		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.9%	6.5%	8.1%				
2. 全職員	10.2%	7.5%	9.4%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	40,591,166	40,650,317	59,151	
*減価償却累計額	17,426,310	17,426,310		
B. 流動資産	3,022,987	3,002,798	△ 20,189	
1. 現金預金	2,712,061	2,475,016	△ 237,046	
2. 未収金	276,762	252,076	△ 24,687	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,973	31,367	△ 2,607	
5. 前払費用・前払金	190	207,245	207,055	工事前払金等
6. その他		37,095	37,095	仮払消費税
D. 水道事業費用		516,760	516,760	
1. 営業費用		392,527	392,527	
2. 営業外費用		123,948	123,948	
3. 特別損失		286	286	
1. 借方合計=A+B+C+D	46,840,757	47,396,479	762,777	
E. 固定負債	10,686,104	10,686,104		
1. 企業債	10,368,059	10,368,059		
2. 引当金	318,045	318,045		
F. 流動負債	1,098,533	498,887	△ 599,646	
1. 企業債	632,104	318,673	△ 313,431	H27年度償還元金
2. 未払金	394,775	33,288	△ 361,488	未払消費税含む
3. 前受金	77	87	10	
4. 引当金	69,681	55,000	△ 14,681	・賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定	1,197		△ 1,197	
6. その他	699	91,840	91,140	
うち仮受消費税		89,591	89,591	
G. 繰延収益	8,983,550	8,995,920	12,370	
1. 長期前受金	8,983,550	8,995,920	12,370	償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	3,226,604	3,226,604		
H. 資本金	6,026,688	8,624,057	2,597,369	
1. 自己資本金	6,026,688	8,624,057	2,597,369	・固有、繰入(出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
J. 剰余金	2,619,071	22,900	△ 2,596,172	
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	2,596,172		△ 2,596,172	
K. 水道事業収益		1,141,802	1,141,802	
1. 営業収益		1,118,733	1,118,733	
2. 営業外収益		22,205	22,205	
3. 特別利益		864	864	
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	46,840,757	47,396,479	555,722	

a. 供給単価(円、銭)	261.77	=給水収益÷有収水量	
b. 給水原価(円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く	
①実数値	123.78	=原価算入額÷有収水量	当月予算
②シミュレーション	240.65	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	78.02%	=一日平均配水量÷施設能力	
d. 有収率	85.73%	=有収水量÷配水量	
e. 流動比率	601.90%	=流動資産÷流動負債	
f. 現金預金比率	496.11%	=現金預金÷流動負債	

*供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成27年 9月期 業務実績報告書(水道管理課)

一般事項

1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,630	183,914	183,400	182,460	514	1,454
2 調定水量	m ³	701,946	4,147,006	4,120,600	4,139,055	26,406	7,951
3 調定料金(税抜)	円	184,551,258	1,092,253,490	1,075,500,000	1,085,543,578	16,753,490	6,709,912
4 口振加入件数	件	25,508	153,128	-	153,080	-	43

2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	82,498	-	83,105	△ 607
6 給水件数	件	30,472	-	30,242	230
7 開栓処理件数	件	198	1,590	1,707	△ 117
8 閉栓処理件数	件	254	1,370	1,483	△ 113
9 給水工事設計審査	件	36	337	465	△ 128
10 給水工事竣工検査	件	60	432	539	△ 107
11 経年メーター交換	件	103	917	2,536	△ 1,619
12 メーター口径変更	件	0	12	40	△ 28
13 月末停止件数	件	△ 1	75	117	△ 42

3 料金徴収関係

項目	A 当期末未収額	B 収納率	C 前年同期未収額	D 収納率
14 当年度分	213,744,344 円	81.88 %	218,057,706 円	81.32 %
15 過年度分	5,289,071 円	97.16 %	5,159,640 円	97.31 %
16 全体(計)	219,033,415 円	-	223,217,346 円	-

4 給水装置工事指定業者(大崎市 1社)

追町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	6	16	12	13	9	8	14	5	102	115	217

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	66/67	12/12	33/34	10/10	12/12	1/1	11/11	1/1	10/10	0/0	0/0	0/0
契約締結	一般	8	7	8	7	0	0	0	0	0	0	0
	指名	38	1	17	1	9	0	3	0	9	0	0
	随契	14	1	3	0	2	0	7	1	1	0	0
	合計	60	9	28	8	11	0	11	1	10	0	0

※入札中止 当月 0件:累計0件/入札不調 当月 0件:累計1件/入札取消 当月 0件:累計0件/未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内容
竣工検査	6	4	工事4件
中間検査	4	1	工事1件
合計	10	5	

7 主な行事・会議

会議名	日時	内容
部長等連絡調整会議	1日	9月期 事業打合せ等
事業調整会議	2日	第7回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
経営分析会議	24日	8月期 経営概況、残高試算表、月報、監査復命
水道事業連絡会議	9日	第6回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
料金徴収等管理業務委託会議	7日	第6回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
安全衛生委員会	11日	第6回 行事計画、日程調整等
水道ブースター会議	17日	第6回 新田配水地築造工事現場視察
給水拠点設置訓練	24日	第6回 登米総合支所(兼9月期災害訓練)
例月出納検査	29日	8月期 月例監査
指名委員会	0・15・28・30日	第15回・第16回・第17回・第18回
入札	10・20日	3件・9件
緊急メールの発出	-日	漏水16・浄水場関係2・水質情報2

特記事項

1 9月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は199,315千円(税込)で、8月期に比べて6,483千円の減で、予算執行率(累計)は52.2%(前年度51.2%)、対前年同月比(税抜)では2,814千円の減となっています。また、他会計負担金として消火栓等に要する経費22,900千円の繰出しを受けました。

当期の営業費用は140,722千円の執行で、累計額は538,795千円、予算執行率(累計)は22.1%(前年度31.9%)となっております。営業外費用では、企業債利息67,388千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金200千円、水道加入金が194千円、累計で12,865千円、予算執行率(累計)では0.4%(前年度2.8%)となっております。

支出は、配水管布設事業7,492千円、布設替事業3,203千円、移設事業13,013千円、調査設計費10,380千円、事務費に1,986千円、企業債償還金(元金)146,801千円を執行し、予算執行率(累計)9.2%(前年度14.5%)となっております。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品に1,452千円を執行しました。

2 今月の出来事

(1) 議会定例会9月定期議会開会

平成27年度登米市議会定例会9月定期議会が25日(金)までの日程で3日(木)に開会しました。水道事業所では、平成26年度登米市水道事業会計決算の認定と、決算に伴う未処分利益剰余金を資本として処分する議案1件を提案しました。会期中に決算特別委員会が開催され、水道事業会計決算について認定され、25日の本会議においても委員長報告のとおり認定されました。また、25億9,617万1,656円の剰余金処分の議案についても議決され、資本として処分しました。

(2) 総務企画常任委員会開催

総務企画常任委員会が9月8日(火)に開催されました。「平成26年度所管事業の決算」の案件について、水道事業所から決算の内容と議案とした剰余金の処分について説明を行いました。各委員からは、「今後の更新費用」、「人口減少に伴う水道料金」、「かび臭等の水質事故」等の質疑があり、それぞれについて回答しました。また、前回の委員会でも求められたブロック化の概要図を提出しました。



ブロック化概要図

(3) 初めての水道事業職員採用試験を実施

平成17年の合併後、水道事業所としては初めてとなる平成27年登米市職員採用統一試験が9月20日(日)に佐沼中学校を会場に行われました。地域水道ビジョンの実施計画における水道事業職員の確保と育成で記載しているとおり、専門的な経営力と技術力が求められる水道事業の職員としての採用試験を実施することとしました。また、今後の採用計画等についても整備し、永続的な人材確保と育成を図っていきます。

(4) 指定給水装置工事者証を交付

9月15日(火)に(株)ダイテック(大崎市)に登米市指定給水装置工事者証の交付式があり、指定工事業者数が217社となりました。

(5) 給水拠点設置訓練と9月期災害訓練を実施

今月の給水拠点設置訓練は登米総合支所を会場に開催し、あわせて9月期の災害訓練として行いました。総合支所と水道事業所の職員や受託者の参加を得て、2基の給水タンクを、手順を再確認しながら素早く組み立てました。



(6) 交通安全街頭指導を実施

秋の交通安全市民総ぐるみ運動が9月21日(月)から30日(水)までの10日間実施され、18日(金)には登米祝祭劇場で登米市交通安全宣言大会が行われ、期間中3日間、水道事業所職員も交代でセブンイレブン前の交差点において、交通安全を呼び掛ける街頭指導にあたりました。

平成27年 9月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	808,829	5,126,991	5,089,750	5,345,043	37,241	-218,052
総配水量	769,021	4,866,998	4,927,970	5,022,499	-60,972	-155,501
1 有効水量	755,081	4,539,805	4,455,620	4,533,409	84,185	6,396
(1)有収水量	706,178	4,172,596	4,145,800	4,166,200	26,796	6,396
(2)無収水量	48,903	367,209	309,820	367,209	57,389	0
2 無効水量	13,940	399,892	472,350	489,090	-72,458	-89,198
(1)漏水量	11,918	395,531	468,000	484,614	-72,469	-89,083
(2)その他無効水量	2,022	4,361	4,350	4,476	11	-115
3 有収率	91.83	85.73	84.13	82.95	1.60	2.78

※当月期の最大配水量は、3日(木)【27, 199m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	3	761,076	2	759,618	0	0	1,458	99.8%
イ 導水施設整備事業	1	188,460	1	188,460	0	0	0	100%
ウ 浄水施設整備事業	14	90,688	1	27,540	0	0	63,148	30.4%
エ 配給水施設整備事業	94	2,395,707	31	1,283,187	9	62,631	1,049,889	56.2%

*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人件費)の合計です。

◎毎日検査 ※おいしい水の条件 遊離残留塩素 0.4 mg/L 以下

	保呂羽浄水場	保呂羽浄水場水系	東和町水系	石越町水系	大萱沢浄水場水系
	F1遊離残留塩素	(測定戸数: 7)	(測定戸数: 6)	(測定戸数: 2)	(測定戸数: 1)
平均	0.78	0.41	0.38	0.56	0.46
最低	0.74	0.18	0.10	0.21	0.29
最高	0.85	0.62	0.70	0.77	0.54

◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H27.9.25	<0.5	<0.4	米谷水系浄水場	H27.8.18	<0.5	<0.6
石越浄水場	H27.9.25	<0.5	<0.5	楼台水系浄水場	H27.8.18	<0.5	<0.5
大萱沢浄水場	H27.9.25	<0.5	<0.5	合ノ木浄水場	H27.8.18	<0.5	<0.6
米川水系浄水場	H27.8.18	<0.5	<0.5	大綱木浄水場	H27.8.18	<0.5	<0.5
錦織水系浄水場	H27.9.25	<0.5	<0.5	—	—	—	—

特 記 事 項

1 大雨による迫川水質異常で石越浄水場取水停止し保呂羽水系に切り替える

9月10日(木)は台風18号と低気圧の影響で大雨が降り、保呂羽浄水場水源の北上川、石越浄水場の迫川では増水(河川水位上昇)となりました。

石越浄水場は、増水すると大巻取水場接合井が水没して取水停止となるため、担当部署ではいつでも対応できる体制を整えて監視を強化していました。このような状況下の11日(金)午前0時30分頃、迫川上流の細倉金属工業から「豪雨により旧細倉鉱山の排水が河川に流出した」との緊急連絡が入り、担当者(浄水場管理運転業務受託者)は石越浄水場に急行して取水停止としました。同時に石越地区への配水を保呂羽浄水場系統から切り替え、午前2時前に作業を終了しました。

旧細倉鉱山からあふれた排水は亜鉛、鉄、鉛が高濃度で含まれた酸性の水で、溢出は12日(土)午後0時頃まで続きましたが、大巻取水場付近の河川水水質(鉛)が平常値になったことと確認した後、16日(水)午後4時に取水を再開しました。

保呂羽浄水場など他の8箇所の浄水場についてはこの大雨のよる被害はありませんでした。

迫川(大巻取水場接合井)



北上川(下り松取水塔)

2 浄水施設等・配水施設等プロポーザル選定委員会を開催

第1回登米市水道事業浄水施設等管理運転業務委託(浄水場運転管理・保守点検・水質管理等)及び配水施設等維持管理業務委託(配水管路維持管理・漏水調査等)プロポーザル選定委員会を11日(金)に登米庁舎会議室で開催しました。

委員会では2件のプロポーザルの実施に関する必要事項の決定と適正かつ公正な審査のうえ業者を選定していただくことになり、委員構成は上水道事業運営審議会委員より2名、水道技術者2名、学識経験者1名の計5名、任期は業務委託が開始されるまでとなります。

第1回の委員会では担当者から「業務委託の概要」、「プロポーザル方式実施要領」、「プロポーザル方式実施事務基準」、「業務委託仕様書」が説明され、委員からは「総括責任者の兼務不可を明示すること」などの意見が出されました。

24日(木)には申し込み業者に対する説明会を開催しました。応募状況はそれぞれ1社の応募となっています。11月24日(火)の第2回委員会では応募者の業務提案書に関するヒアリングを予定しています。



選定委員会



3 平成27年9月の漏水調査結果について

9月末の漏水調査の結果 84件73.519 m³/h(累計)の漏水を発見しています。

4 地震発生状況

登米市内における震度4以上の地震は発生していません。

漏水調査結果表

施設	件数	漏水量(m ³ /h)
配水管	27	46.35
付属施設	7	1.19
給水管	50	25.979
計	84	73.519